

市報

大分

59. 6.1

No.910

編集と発行

大分市荷揚町2番31号

大分市秘書広聴室広聴広報課

(☎34-6111)



5月20日、大分川には釣り糸を垂れた太公望の姿が目につく。アユ漁の解禁日だ。

腰まで水につかり、じつと当たりを待つ。そこには、街の雑踏からは想像もつかない静けさがある。

大分川漁協の首藤美則さんは「アユは縄張意識が強いので、あとアユをねらって針に飛びついてきます。その手ごたえはグーンときますよ」と話してくれた。

これから年末までの長い期間、アユと太公望のホットな戦いが続く。

《大分市の面積と人口》

〈市勢〉 面積…359.01km² 人口…377,712人(男 184,509人
女 193,203人) 世帯数…121,414世帯(4月末現在の住民登録から)

大分市の都市像 “緑あふれる豊かな人間都市。”

A black and white portrait of Professor Noboru Nomura, a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie, looking slightly to his left with a thoughtful expression.

町に個性があり、「顔」があるのも、永い間市民が自分たちの手でまちを守り育てるために闘ったからです。

わたしたちも、大分市の「居住者」から大分市をつくり支える主体的な担い手としての「大分市民」であらねばなりません。このような考え方をもつて、大分市に住む様々な職業の、いろいろな立場の市民が参加して、「緑あふれる豊かな人間都市」

するためには自然と共存し、働く喜び、住む喜び、まちづくりに参加する喜びを通して、生きる喜びをすべての人が享受できるまちにしたいという市民の願いのこもった計画です。

これを実現するのは「あなたの自身」です。知恵と心をつかい、体を動かし、汗を流してまちをつくり、育てる仕事を、明日から始めると言わず、今日、今から始めようではありませんか。

A black and white photograph showing a group of about ten people, mostly middle-aged women, working together to clear overgrown grass and debris from a garden area in front of a community hall. They are using various tools like hoes and rakes. The scene is outdoors, with trees and a building visible in the background.



有価ゴミ回収運動

毎日無造作に捨てられるゴミを見直し、ゴミの再資源化を図るとともにゴミ処理施設の長期使用を図ろうと51年度に有価ゴミ回収運動が始まりました。当初は21団体で始められ、回収金額も2百67万円でしたが、57年度には4百96団体、回収金額3千6百61万円と大幅な伸びを示しています。

そこで、当初から有価ゴミ回収に取り組み、萩原地区をモデル地区にまで高めた自治委員の堤保さんにお話を伺いました。

（◎回収金の使いみちは：萩原の3町内や子供会、老人会などの活動費に充てています。）
（○回収運動を始めて変わった点は：物を大切にする気持ちが町内に広がつたことと隣近所のふれあいが生まれたことですね。）

57年12月に発足したボランティア津留は、地域ボランティアとして校区に住んでいる各グループのボランティアが横のつながりを持ち、地域に根ざした活動をめざしており、36人の会員は空き缶拾いや道路の清掃、独り暮らしのお年寄りの訪問、おむつ作りなど幅広い活動を展開しています。

そこで、代表者の岡方茂美さんにお話を伺ってみました。

○定期的な会合は：毎月15日に例会を開き、そこで先月の反省や今後の計画などを話し合って

近畿石川の
ネットワークづくり

○回収金の使いみちは：萩原の3町内や子供会、老人会などの活動費に充てています。

◎回収運動を始めて変わった点は：物を大切にする気持ちが町内に広がつたことと隣近所のふれあいが生まれたことですね。

ふれあいのあるまち大分をめざして奉仕活動を行っています。

57年12月に発足したボランティア津留は、地域ボランティアとして校区に住んでいる各グループのボランティアが横のつながりを持ち、地域に根ざした活動をめざしており、36人の会員は空き缶拾いや道路の清掃、独り暮らしのお年寄りの訪問、おむつ作りなど幅広い活動を展開しています。

そこで、代表者の岡方茂美さんにお話を伺つてみました。

◎定期的な会合は：毎月15日に



区、各町内で市民参加によるまちづくりの芽が大きいくふくらんでいます。

それは、縁あふれるまち、ふれあいのあるまち、ゴミのないきれいなまちなど、そこに住む人たちが人と人とのつながりを大切にしながら明るく住みよい環境づくりに取り組み、着実にその成果があがつている現れです。

そこで、今回は地域に根の張った花壇づくりや有価ゴミ回収運動、校区ボランティア活動などの現状を紹介するとともに活性化した活動を展開している3地区の代表の方々にお話を伺つてみました。

A black and white photograph showing a group of approximately ten people, mostly young adults, working in a community garden. They are tending to various plants and vegetables in raised beds. In the background, there is a fence, some buildings, and utility poles. The scene depicts a sense of community and environmental engagement.

◎花壇づくりのきっかけは：以さんにお話を伺つてみました。
前から空き缶拾いをしていたのですが、みんなの心を拾いながらきたない所を花で飾ろうということになつたんです。

ちょうど、市の提唱するクリーン・グリーン作戦が始まつたころです。

◎子供たちの変わつた点は：よくあいさつをするようになつたことと、学年に関係なく子供たちの仲間づくりが広がつたことです。

——今年も10月に花壇コンクールが開かれます。

みんなで大切に育て、きれいな花を咲かせた花壇を、ぜひ конкурсに出しませんか。

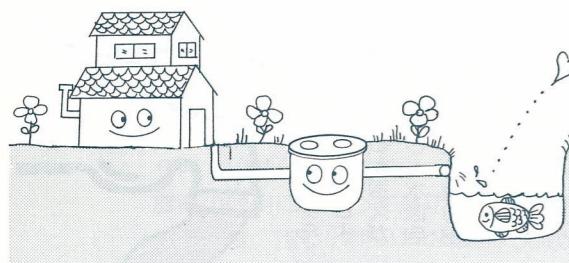
地或云がる

石垣の車

また、市内24カ所には育苗センターもあり、各地域でそれぞれ調整を図りながら自給できるようになりました。

そこで、昨年まで政所子供会花壇のお世話をし、自ら政所育苗センターをつくり苗づくりの奉仕活動を行っている志村クニ

みんなでつくる
住みよいまち
あおいた

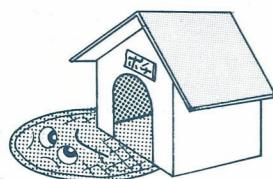


し尿浄化槽は

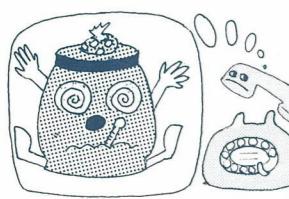
し尿浄化槽清掃業許可業者

業者名	大分県	大分泉商事	大分県淨化槽管理舎	大分サニタリーセンター	大分淨化槽管理	大分淨化槽セントラル	大分淨化衛生工業所	岡村環境開発業	福喜工	福喜工	府内淨化槽管理センター	宏化
萩原野木町	葛元町	猪北下郡	葛木下郡	葛木下郡	葛木下郡	葛木下郡	葛木下郡	葛木下郡	葛木下郡	葛木下郡	葛木下郡	葛木下郡
58 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33	22 22 41 39 1 1 5 0 5 7 0 7 3	69 0 9 1 1 2 5 5 5 7 8 8 2	51 50 1 1 2 9 9 7 8 8 9 6 9	34 34 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33 33	7 1 7 8 8 2 7 8 8 9 6 9	36 0 9 1 7 1 9 8 2 6 9 1 3	58 0 7 0 1 1 2 3 2 3 2 3 2 3	新川町	日岡	西新地		
番号	10号	10号	10号	10号	10号	10号	10号	10号	10号	10号	10号	10号
電話	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123	(38) 2123

浄化槽の上には物を置かないでください
浄化槽の上に物を置くと点検、清掃、消毒の邪魔になります。



その他、故障や異状に気づいたらすぐ専門業者に連絡しましょう



モーターの電源を切らないでください
ぱつ気方式浄化槽の場合、電源を切ると室内に空気が送り込まれず微生物が死んでしまいます。生き物には空気が大切です。



トイレットペーパー以外のものは流さないでください
洗剤などは槽内の微生物を殺します。



水は使用の都度きちんと流してください
流す量は多すぎても少なすぎてもいけません。



便器の掃除はぬるま湯でしてください
洗剤などは槽内の微生物を殺します。



し尿浄化槽は正しく使いましょう

問合せ先：清掃業務第2課
(34) 6111内線387
(32) 8231へ。

あなたのうちの

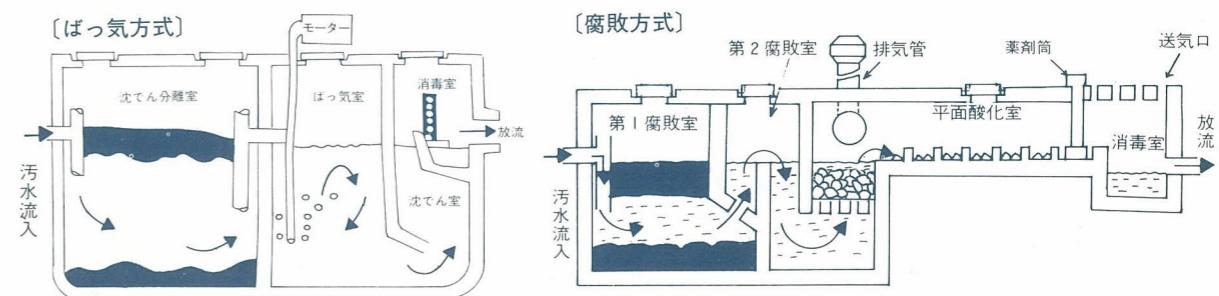
専用汚水処理場です

し尿浄化槽は生き物です
し尿浄化槽は、微生物の働きを利用して污水を浄化します。この微生物は案外氣むずかしい屋でこれを活発に働くためには、微生物が働きやすい条件を整えてやらねばなりません。よく浄化槽は生き物だといわれるのもこのためです。

微生物の中には、空気を好まない嫌気性のもの（酸素のないところで有機物を分解して必要なエネルギーをとる生物）と空気がないと弱ってしまう好気性のもの（酸素によって有機物を酸化することにより必要なエネルギーをとる生物）とに大別されますが、これらは、専門の業者にお願いします。

浄化槽からきれいな水を出すためには、このような微生物が力いっぱい働けるように注意してやらなければなりません。公共下水道の普及していない地域でトイレを水洗化するためには、し尿浄化槽を設置しなければなりません。したがって、浄化槽を設置されている人は、専用の汚水処理場を設置していることとなります。

快適な生活環境を守り、いつまでも役に立つ施設として大切に扱っていただきたいものです。
◎ ぱつ気方式
し尿浄化槽沈殿分離室に流入した汚水は、固体物と液体に分離され、液体部分はぱつ気室に送り込まれます。ここでモーターにより強制的に空気を送り込んで、かくはんして酸化分解し沈殿室で微生物のかたまりを沈殿分離し、消毒をして放流します。



あなたのうちのし尿浄化槽はどちらの方式ですか？もう一度確認してみましょう

し尿浄化槽には2つの方式があります

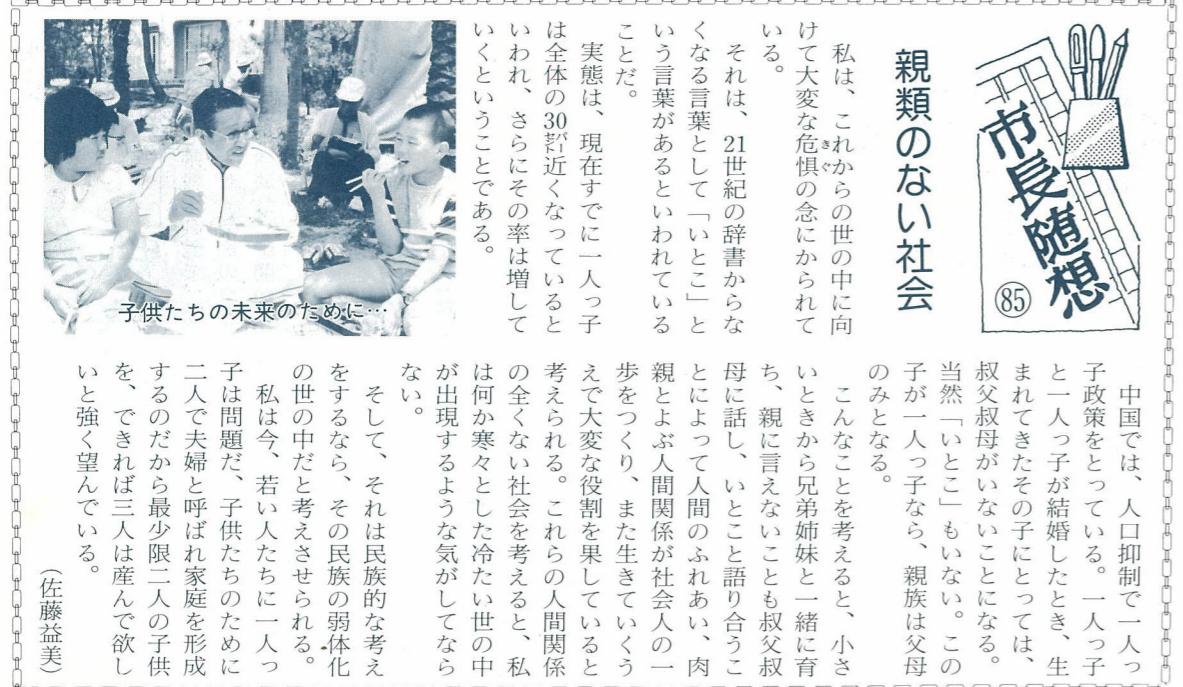
し尿浄化槽を大別すると「腐敗方式」と「ぱつ気方式」の2つがあります。

最近、わたしたちの生活様式も文化的になり、し尿浄化槽によるトイレの水洗化をする人が急激に増えています。ところで、し尿浄化槽はどのような働きをするのか、どういった構造なのか、どのような点に気をつけ使用すればよいのか、ご存じの方は意外と少ないようです。

し尿浄化槽は、使用方法や維持管理が十分でないと槽内の装置に異状を来たしたり、また機具類に故障が生じたりして河川の汚濁、悪臭などいろいろな公害を引き起こす原因となります。このような状態を招かないようし尿浄化槽の点検や清掃を定期的に行い、いつまでも正常な機能を發揮できるように努めなければなりません。そこで今回は、し尿浄化槽の内容と正しい管理について紹介します。

農薬の使用は正しく安全に

6月1日から30日までは、農薬危害防止運動月間です。農薬の使用にあたって長年の“なれ”からつい安易な使い方になりがちです。もう一度、正しい使い方の徹底に心がけましょう。



わたしたちは、ややもすると水は空気と同じよう無限であると考えがちです。しかし、水は自然が与えてくれる限りある貴重な資源です。

6月1日から7日まで「水道週間」です。この機会にみんなで水の大切さを知り、暮らしと健康を守るために、わたしたち一人ひとりが節水に心掛け、川の水を汚さないように努力しましょう。

日本では、梅雨や台風のときに集中して雨が降ります。また、河川が急流で短いため、雨はたちまち海へ流れ出てしまいます。このため、雨量はあるのにその利用については非常に不利な状況にあります。夏の一一番水を必要とするときには、雨が降らないと水不足が心配されます。

水を有效地に、合理的に使つていくためにダムを建設し、水を貯めることや、一度使つた水の再利用、水道配水管からの漏水防止、家庭や事業所などの節水などいろいろな方策がとられています。

大分市の水道事情

野川の表流水を主な水源としています。また、1日に市庁舎2杯分(17万2千7百90立方メートル)の水を給水することができます。一方、水の使用量は1日平均約12万立方メートルです。しかし、毎年人口の増加に伴い使用量が増え続けています。しかも、7月20日から8月10日までの最需要期には集中的に大量の水が使われます。

特に昨年8月3日には、これまで最高の1日15万7千5百37立方メートルの水が使われ給水能力に接近したため、一部の高台や管末地区で水圧の低下をきたしました。

現在、今後予想される水不足に対処するため、国に大分川ダム建設の促進を県と一体となって強く要請するとともに、新浄水場の建設や配水管を整備する第4次拡張事業に取り組めるとう準備を進めています。



- 合成洗剤の使用をやめ粉石けんを使いましょう
- 河川に空き缶やゴミなどを捨てないようにしまましょう
- 浄化槽の維持管理は決められたとおりにしましょう

水道は暮らしお
リズムひらがな窓

水源をきれいに

水源をきれいに

- 合成洗剤の使用をやめ粉石けんを使いましょう
- 河川に空き缶やゴミなどを捨てないようにしましょう
- 浄化槽の維持管理は決められたとおりにしましょう

家庭の船

▷期日 8月2、3、4日（2泊3日の船とバスの旅です）
 ▷行先 東映太秦映画村と京都市内見物
 ▷応募資格 大分市民（居住者に限ります）
 ▷募集対象および人員 ①親族関係にある三世代 230人
 ②身体障害（児）者および精神薄弱（児）者（介護者を含む）90人 ③ひとり暮らしの70歳以上のお年寄り20人 ④母子（父子）家庭30人 ⑤婦人 100人
 ▷募集期間 6月4日～16日
 ▷応募方法 社会課または各支所市民係にある参加申込書に記入のうえ、直接お申し込みください。（障害者の方は、身体障害者手帳あるいは療育手帳をご持参ください）
 ▷参加料 1人につき 5,000円
 ▷その他 ①応募者多数の場合は、抽せんなどの方法で決定します。②台風など悪天候の場合は中止することがあります。
 ▷問合せ先 社会課（☎346111内線343）へ。

(社会課)

暮らしのゼミナール

△内容

〈衣〉 テーマ 「ファッショングのこれから」
 会場 鶴崎公民館

1	6月20日 (水)	（講義） ファッショングと現代	大分芸術短期大学 鶴上 美子氏
2	7月18日 (木)	（商品研究） 新素材とクリーニング	大分県クリーニング環境衛生 同業組合 柳 英明氏
3	8月8日 (水)	（実習） ファッショングリームに挑戦	生野家政専門学校 生野 タエ氏

〈食〉 テーマ 「健康と食品」
 会場 稲田公民館

1	6月26日 (火)	（講義） 健康食品について	県消費生活センター 安東 英子氏
2	7月11日 (木)	（商品研究） 乳製品と豆乳	九州乳業㈱ 篠田 和子氏
3	8月2日 (水)	（実習） 手作りグレメ	料理研究家 高橋 知子氏

▷時間 13時30分～15時30分 ▷定員 各会場とも30人
 ▷受講料 無料（8月2日の実習は実費）
 ▷申込方法 電話で交通安全市民生活課（☎346111 内線263）へお申し込みください。（交通安全市民生活課）

市民大学講座「明日を拓く市民講座」

▷期間 6月23日～11月2日 ▷時間 13時30分～15時30分
 ▷会場 大分文化会館第1、第2小ホール
 ▷受講料 無料 ▷対象 一般市民
 ▷募集人員 200人（定員になり次第締め切ります）
 ▷申込方法 6月20日までに電話で社会教育課（☎346111 内線533）へお申し込みください。
 ▷講座名

月 日	テ 一 マ	講 師
6月23日(土)	健康をむしばむもの その対策	大分医科大学 伊東祐信氏
7月21日(土)	エレクトロニクス世界への道	東芝大分工場 成田敬道氏
7月28日(土)	暮らしと経済 今後の展望	大分銀行 中尾 彰氏
8月4日(土)	現代社会における婦人のあり方	医 師 津田 露氏
8月11日(土)	短文学の世界	歌 人 下郡峯生氏
10月20日(土)	異常気象と生活への影響	大分気象台長 西原 正氏
11月2日(金)	大分市の夢	大分市長 佐藤益美

(社会教育課)

手作りイカダ大野川河下り大会

▷日時 前夜祭 7月28日(土)18時
 イカダ下り大会 7月29日(日)10時
 ▷コース 白滝橋～鶴崎橋（約12km）
 ▷募集チーム （タイムレースの部）100チーム（仮装の部）50チーム

※応募者多数のときは抽せんします。

▷参加資格 健康で泳ぎに自信のある人（ただし、小・中学生、高校生は保護者の承諾書が必要です）

▷参加料 1人 250円（傷害保険料）

▷申込方法 6月20日までに往復はがきに、代表者の住所、氏名、電話番号を記入し、大分市観光協会大野川河下り大会係（荷揚町2番31号）へお申し込みください。（1チーム1枚限り）

▷その他 ①1チーム3人以上5人以下とします。②イカダは手作りのみ認めます。③各自、救命胴衣が必要です。

▷問合せ先 観光協会（☎346111内線399）へ。

(観光課・観光協会)



パン作り（無料）講習会

▷日時 6月17日(日)、18日(月)、13時30分
 ▷場所 県婦人会館 ▷定員 50人

▷参加料 700円（材料費）

▷申込方法 6月10日までに往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望月日を記入し、県婦人会館（城崎町一丁目2番5号）へお申し込みください。

(大分県地域婦人団体連合会)

大分市年齢別卓球選手権大会・県体選手選考会

▷日時 6月24日(日) 9時 ▷場所 日吉原体育館

▷参加料 無料

▷種目 一般……30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上、教員
 ▷申込み・問合せ先 6月16日までに電話で佐々木武信（☎323770）へ。

(体育保健課)

視聴覚センターの催し（☎458616）

講 座 名	内 容	日 時	そ の 他
① 市民放送セミナー	シルクロード第2部 「灼熱黒砂漠」 講師 県立森高校教諭 秋吉 信隆氏	6月10日(日) 10時～12時	・参加自由 ・対象 一般
② 家庭教育講座(小学校)	テーマ「健康を守る」 NHK番組（おかあさんの勉強室）を共同視聴	6月13日(日) 10時～12時	・定員 70人 ・対象 小学生を持つ母親
③ 親子映画会	「山の子平太」「あんじゅとずしおう」	6月17日(日) 13時30分～15時	・参加自由 ・対象 親子、一般
④ 映画で学習する中高年者講座	テーマ「ふるさとの町づくり」 映画 よみがえる過疎の村 講師 豊の国づくり塾運営委員会委員長 中谷健太郎氏	6月17日(日) 10時～12時	・対象 中高年者
⑤ 家庭教育講座(中学校)	テーマ「中学生の性教育」 NHK番組(中学生日記)を共同視聴	6月21日(木) 10時～12時	・対象 中学生を持つ父・母
⑥ 16ミリ映画取扱い再講習会	以前に16ミリ映画取扱い講習会を受講した人に再講習します	7月1日(日) 1回目 9時30分～12時 2回目 13時30分～16時	・対象 以前に16ミリ映画取扱いの認可証を取得した人

*参加料は無料です。②④⑤⑥は本人が電話で視聴覚センターに申し込んでください。